

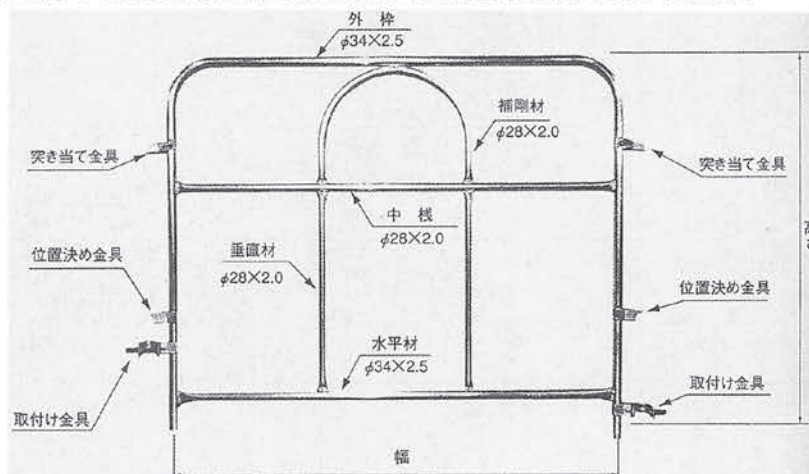
品名	アルミスカイガード(据置型先行手摺)				
品番	高さ(mm)	幅(mm)	色別	重量(kg)	No.
ASGF-18T	1307	1683	無	7.0	530
ASGF-15T	1307	1378	黒	6.4	531
ASGF-12T	1307	1073	緑	6.0	532
ASGF-9T	1307	768	無	5.3	533
ASGF-6T	1307	430	無	4.7	538

■積載数量

トラック標準 積 載 量	240枚/4t平	180枚/4tu
	420枚/10t平	300枚/10tu

●特長

- 常に、枠組足場の組立・解体作業時に「手すり枠」があり、安全に作業をすることが出来ます。
- スカイガードには、中棧、2本のタテ桟があり、中腰作業での転倒などによる墜落を防止することが出来ます。
- 手すり枠は、手すりの高さが91cmあり、乗り越えなどによる墜落を防止することが出来ます。



メーカー名：中央ビルト工業(株)

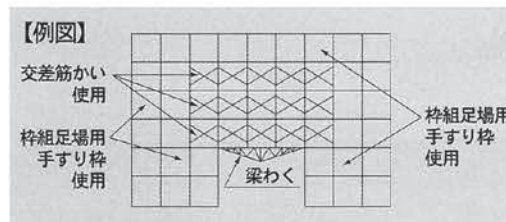
●使用上の注意事項

- 枠組足場用手すり枠(スカイガード)は、標準建枠に取り付けた場合でも、簡易枠と同じ強度の扱いとなります。

簡 易 枠					
建枠寸法 (mm)		建枠1枠当りの許容支持力	積 載 荷 重 1 スパン当り	使用 高さ	壁つなぎ 間 隔
幅 (W)	高さ (H)	3500kg	250kg 2 層以下	45m	垂直 3 層
600以上 1250以下	1800以下				水平 4スパン

養生シートを張った場合には、壁つなぎ間隔を垂直2層、水平スパンごとに設けます。

- 枠組足場の第1層の水平レベルを出して下さい。
- 枠組足場の外側にスカイガードを、躯体側には交差筋かいを取り付けて下さい。
- 枠組足場の全層、全スパンには、床付き布枠を取り付けて下さい。
- 足場開口部の梁わくを使用する部分には、梁わくのレベル上の両端それぞれ3層以内には、交差筋かい又は交差筋かいとスカイガードを例図に示すように併用する。
- 枠組足場用手すり枠(スカイガード)の認定基準による性能試験値：品番ASGF18T (アルミ)



(1) 手すり材の水平移動量及び強度試験

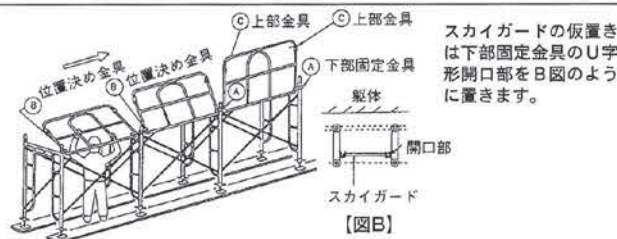
供 試 体 No.	1	2	3
荷重30kgもおける水平移動量(mm)	42	39	39
荷重100kg時の破壊の有無	無	無	無
認 定 基 準 に よ る 値	水平移動量 100mm以下		
	破壊の有無 荷重100kgで破壊しないこと		

(2) 5層組立て時の荷重試験 (ton)

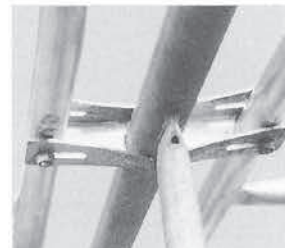
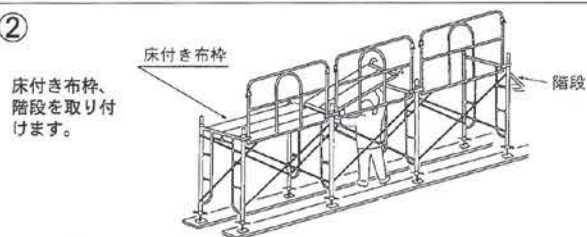
強 度	20.48
認定基準による値	14 以上

●組立手順

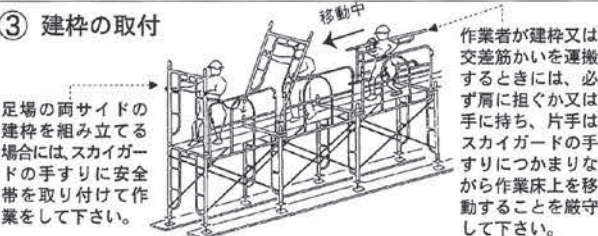
①



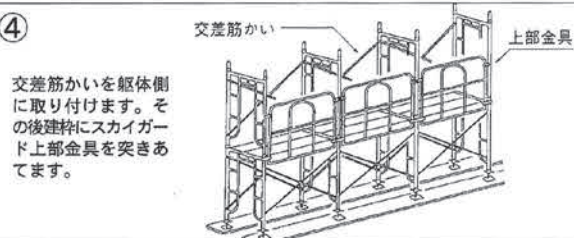
②



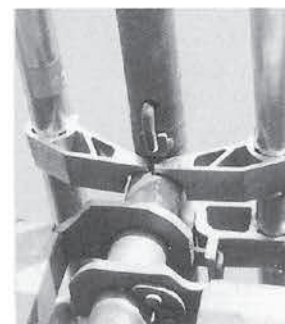
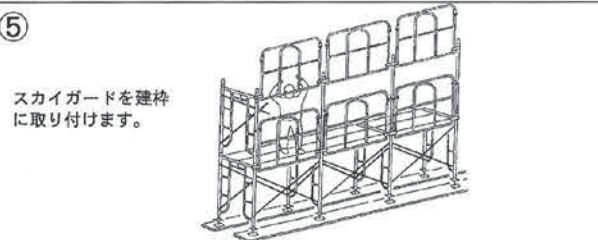
③ 建枠の取付



④



⑤



●組立上の注意事項

1. 足場の2層目からは、前踏側(内側)に交差筋違、後踏み側(外側)にスカイガードを全面に設けて下さい。
2. 作業者が足場を組立・解体する場合は、必ず機材を肩にかつぐか片手に持ち、片方の手でスカイガードに固定して作業を行って下さい。
3. 足場の両端(妻側)の建枠を組み立てる場合は、墜落防止のため安全帯をスカイガードに固定して作業を行って下さい。